

青谷横木遺跡出土銅板について

- (1) 出土調査区 平成 27 年度 P10 区（遺跡中央付近）
- (2) 出土年月日 平成 27 年 4 月 30 日
- (3) 出土状況 古代山陰道と考えられる道路遺構の盛土内から出土。
- (4) 年代 7 世紀末～8 世紀初頭
- (4) 法量 長さ 4.7cm、幅 4.2cm、厚さ 0.45～0.6mm（破片資料）
- (5) 用途 厨子等に飾られた押出仏（銅板に鑄型を圧着して仏像を打ち出したもの）の一部である可能性がある。
- (6) 絵画内容 山岳文様が打ち出され、山々と樹木が表現されている。



図1 青谷横木遺跡出土銅板



出典：『国立中央博物館』日本語版 通川文化社を一部改変

図2 扶余郡窺岩面外里出土山水文磚（タイル）（百濟・7世紀前半）